

# 三中だより

令和2年度 9月号



令和2年9月2日発行  
荒川区立第三中学校  
(学校通信 No. 6)  
校長 小柴 憲一

## 「特別の教科 道徳」の授業の「見るポイント」

先日のお知らせの通り、残念ながら9月12日(土)の道徳授業地区公開講座を公開することができなくなり、保護者の皆様に、今の「特別の教科 道徳」についてご説明する機会がなくなっていましたので、「三中だより」にてご説明いたします。

保護者の皆様の中には、「昔、道徳の時間って何をやったかしら」と思われている方もいらっしゃるのではないかと思います。それもそのはず、かつての「道徳の時間」は席替えなどの学級活動に変えられるなど他教科と比較して軽んじてみられていたり、「このときの〇〇さんの気持ちはどんなだったでしょう」と、登場人物の心情を読み取ったりすることに力がおかれていた経緯がありました。さらに、「こんな時、どうしたらいいでしょう」と分かりきったことを答えさせる発問が多く、小学校高学年や中学生は「こう答えてほしいんだろうな」と見抜いてしまい、だからこそ、なおさら発言したくなくなる子どももいたことと思います。

これらの課題を踏まえ、教科としての位置付けとなって登場したのが「特別の教科 道徳」です。基本的に、かつての「道徳の時間」と目指す方向が大きく異なるわけではありませんが、体系化されたために、先行実施された小学校から研究は深まってきました。

そこで、今後、小学校・中学校で授業を見るときのために、保護者の皆様にも「特別の教科 道徳」の授業の「見るポイント」について3点だけお知らせしておきます。

### 1 資料の内容と、指導案に記載されている「内容項目」との比較

資料を読めば、主人公自身の感情・行動の変化や、他の登場人物の主人公に対する思いの変化や、主人公が解を出せずに悩んでいる姿など、「ここが重要だ」と感じる箇所があるはずです。その感じた箇所から、指導案に記載された内容項目※が納得できれば、「こんな授業展開になるかな」と想像がつくはずです。しかし、もし、納得できない・関係が分からないというときは、「果たして、この資料のどの部分を取り上げ、その内容項目に迫っていくのか」に注目すると面白いかもしれません。

※「内容項目」については3ページ目をご参照ください。

### 2 中心発問の際の子どもたちの表情・態度・発言

中心発問は、1単位時間の道徳科の授業で、ねらいに迫るための決め手になる重要な発問です。指導者は、ここで、生徒たちの中にジレンマや深い悩み、あるいは思いもよらない新たな発見を生み出そうとします。そして、生徒たち同士で意見が分かれたり、誰かの意見に左右されたりする生徒もいる中、「私は、…」と自分を主語にした力強い意見を言う生徒も出てきます。

このとき、意見を言わず黙ったままでもいいのです。自分だったらどうしよう・正しいと分かっているのになぜ自分ではできないんだろう・きれい事だったらいくらでも言えるけど本当にそれでいいの？等、悩んだり考えたりしていれば学習は成功です。これこそが、他人事ではなく自分事として考えているということなので、是非、そんな言葉にしていけない様子にも注目してください。

### 3 一面的ではなく多面的・多角的な見方

小学校低学年は、一面的に直感で解を導くことがありますが、生活体験を積み上げていくうちに、自分の思い通りにはならないということを学び始め、次第に、誰にとっても望まれる解は何な

んだらうかというベストアンサーを探そうとするようになります。それが、多面的・多角的です。

物事や事象は一面的に見ると偏ってしまいます。主人公Aさんの言動により、Bさんはどうなるか、Cさんはどうなるか。逆に、Bさんからすると主人公Aさんに何を期待しているのか、Cさんはどうか。物事や事象は、人によって異なった評価をしていること、また物事や事象は人に対して異なった影響を与えていることを理解して考えていく様子があるかどうかにも注目すべき点です。

さて、ここで、これまで教育界、とくに道徳を専門に研究してきた研究会で、よく活用された研究授業の資料のあらすじについて紹介いたします。

私も様々な中心発問を見てきましたが、「何を答えさせるか」は重要ではなく、「何を考えさせるか」が重要です。保護者の皆さんは、どの部分に注目させて考えさせたいと思うのでしょうか。

「泣いた赤鬼」(小学校2・3年生扱いが多い)

著者 浜田 廣介

人間と仲良くなりたい赤鬼のために、青鬼が芝居を打つ提案をする。赤鬼は躊躇するが、青鬼に連れられて村へ下りていく。村で暴れる青鬼を殴って懲らしめ、優しい鬼だと思わせることで、赤鬼は人間からの信頼を得て、仲良くなることができる。しかし、青鬼は赤鬼が人間から疑われないように赤鬼のもとを去る。そして赤鬼は去った青鬼の家に貼られた手紙を読む。

「ぼくが、このまま君と付き合っていると、君も悪い鬼だと思われるかもしれません。それで、ぼくは、旅に出るけれども、いつまでも君を忘れません。さようなら、体を大事にしてください。ぼくはどこまでも君の友達です。」

赤鬼は、青鬼を思って涙を流す。

「心と心のあく手」(小学校3・4年生扱いが多い)

著者 柿本 由子

学校の帰り道、家の近くまで来たとき、重そうな荷物を持ったおばあさんに出会う。声をかけようかと思ったが、母親の手伝いをする約束もあるので迷う。しかし、おばあさんが石につまづき転びそうになり、思わず「荷物、持ちます。」と声をかける。しかし、おばあさんからは「ありがどうね。でも、家まですぐだからいいですよ。」と断られた主人公は残念に思う。あとで、母親から、そのおばあさんはリハビリ中だったと知る。数日後、立っているだけでもつらいほどとても暑い日に、再度おばあさんを見かけたとき、主人公は声をかけようか迷う。どうすることがおばあさんのためか考え、不自由な足を一生懸命動かして坂を上っているおばあさんを黙って見守り続ける。

「手品師」(小学校6年生扱いが多い)

著者 江橋 照雄

腕はいいが売れない手品師がいた。ある日、男の子と出会う。男の子は、父を失い、母は仕事に出て不在だという。手品師はその子に手品を見せた。男の子はとても喜んだ。そこで次の日にも手品を見せる約束をしたが、そんな時、古い友人から手品師のもとに大舞台のマジックショーへの出演依頼を持ち掛けられた。有名な手品師が倒れたのでその代わりだという。手品師は悩んだ挙句に、マジックショーへの出演を断り、男の子に手品を見せる約束を果たすことを選択した。

「杉原千畝 命のビザ」(中学生扱いが多い)

著者 石崎 洋司

1939年9月、ナチス・ドイツとソ連のポーランド侵攻により同国が分割される中、中立国だった隣国のリトアニアへユダヤ人は避難民として逃げ込んだ。しかし、リトアニアもソ連併合が現実となり、彼らにはもはや日本通過ビザを得て、第三国へ再び逃れる道しか残されていなかった。

1940年7月18日、ユダヤ人難民がビザを求めリトアニア・カナウス日本領事館へ押し寄せた。当時の杉原千畝領事代理は本国へ大量のビザ発給を打診したが、本省からの回答はいずれもビザ発給の拒否だった。杉原は悩み苦しんだ末、本国の命に反して独断でビザ発給の道を選択した。その、ビザのことを「命のビザ」という。

次ページに、学習指導要領で定められている「特別の教科 道徳」の内容項目を、小学校1・2年生～中学校までを整理して掲載しておきました。左端(小学校)と右端(中学校)の「善悪の判断」などが端的に表した表現となります。

「特別の教科道徳」内容項目ごとの概要、学年段階ごとの指導の要点 一覧表

小学校	小学校第1学年及び第2学年 (19)	小学校第3学年及び第4学年 (20)	小学校第5学年及び第6学年 (22)	中学校 (22)	
A	<p>主として自身に關すること</p> <p>(1) よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを選んで行うこと。</p> <p>(2) うそをついたりごまかしをしなしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。</p> <p>(3) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないので、規則正しい生活をする。</p> <p>(4) 自分の情緒に気付くこと。</p> <p>(5) 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。</p> <p>希望と勇氣、努力と強い意志、真理の探究</p>	<p>(1) 正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。</p> <p>(2) 道徳は素直に改め、正面に明るい心で生活すること。</p> <p>(3) 自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする。</p> <p>(4) 自分の情緒に気付くこと、長所を伸ばすこと。</p> <p>(5) より高い目標を立て、希望と勇氣をもち、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。</p> <p>(6) 真理を大切に、物事を探究しようとする心をもつこと。</p>	<p>(1) 自由を大切に、自律的に判断し、責任のある行動をすること。</p> <p>(2) 誠実に、明るく生きていくこと。</p> <p>(3) 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を節制し、節度を守り節制に心掛けること。</p> <p>(4) 自分の情緒を知り、短所を改め長所を伸ばすこと。</p> <p>(5) より高い目標を立て、希望と勇氣をもち、困難があってもじじずに努力し物事をやり抜くこと。</p> <p>(6) 真理を大切に、物事を探究しようとする心をもつこと。</p>	<p>(1) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。</p> <p>(2) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全や強利のある生活をする。</p> <p>(3) 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。</p> <p>(4) より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇氣をもち、困難や失敗を乗り越えて偉業にやり遂げる。</p> <p>(5) 真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出すよう努めること。</p>	<p>自主、自律、自由と責任</p> <p>節度、節制</p> <p>向上心、個性の伸長</p> <p>希望と勇氣、努力と強い意志</p> <p>真理の探究、創造</p>
B	<p>主として人との関わりに關すること</p> <p>(6) 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。</p> <p>(7) 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。</p> <p>(8) 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。</p> <p>(9) 友達と仲よくし、助け合うこと。</p> <p>親切、思いやり</p> <p>感謝</p> <p>礼儀</p> <p>友情、信頼</p> <p>相互理解、寛容</p>	<p>(6) 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。</p> <p>(7) 家族など生活を支えてくれたりしている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。</p> <p>(8) 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。</p> <p>(9) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。</p> <p>(10) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。</p>	<p>(7) 誰に対しても思いやりや心のこも、相手の立場に立って親切にすること。</p> <p>(8) 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。</p> <p>(9) 時と場合をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。</p> <p>(10) 友達と互いに信頼し、学び合つて友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。</p> <p>(11) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。</p>	<p>(6) 思いやりや心のこもった支えや多くの人々の言葉により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。</p> <p>(7) 礼儀の厳格な理解し、時と場合に応じた適切な行動をとること。</p> <p>(8) 友情の尊厳を尊重し、互いに助け合つて、互いに高め合つるとともに、異性についての理解を深め、偏見や葛藤も超越しながら人間関係を築いていくこと。</p> <p>(9) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があつたことを理解し、寛容の心をもって謙虚に他人に学び、自らを高めていくこと。</p>	<p>思いやり、感謝</p> <p>礼儀</p> <p>友情、信頼</p> <p>相互理解、寛容</p>
C	<p>主として集団や社会との関わりに關すること</p> <p>(10) 約束やまじきまじきを守り、みんなが偉い物大切にすること。</p> <p>(11) 自分の好き嫌いにこだわらないで接すること。</p> <p>(12) 働くことよき善知、みんなのために働くこと。</p> <p>(13) 父母、祖父母を敬愛し、進んで手伝いなどをして、家族の役に立つこと。</p> <p>(14) 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。</p> <p>(15) 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。</p> <p>(16) 他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。</p> <p>遵法精神、公徳心</p> <p>公正、公平、社会正義</p> <p>勤労、公共の精神</p> <p>家族愛、家庭生活の充実</p> <p>よりよい学校生活、集団生活の充実</p> <p>伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</p> <p>国際理解、国際親善</p>	<p>(11) 約束や社会のまじきまじきを守ること。</p> <p>(12) 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。</p> <p>(13) 働くことよき善知、みんなのために働くこと。</p> <p>(14) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなが協力し合つて暮らすこと。</p> <p>(15) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなが協力し合つて暮らすこと。</p> <p>(16) 我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつこと。</p> <p>(17) 他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。</p>	<p>(12) 法やまじきまじきの尊厳を尊重し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある正しい社会の実現に努めること。</p> <p>(13) 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。</p> <p>(14) 働くことよき善知、みんなのために働くこと。</p> <p>(15) 我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつこと。</p> <p>(16) 我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつこと。</p> <p>(17) 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。</p>	<p>(10) 法やまじきまじきの尊厳を尊重し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある正しい社会の実現に努めること。</p> <p>(11) 正義と公正を重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。</p> <p>(12) 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。</p> <p>(13) 勤労の尊厳や意欲を尊重し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。</p> <p>(14) 父母、祖父母を敬愛し、家族の成員としての自覚をもって充実した家庭生活の充実を追求すること。</p> <p>(15) 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合つてよりよい校風をつくること。</p> <p>(16) 郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念をもち、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。</p> <p>(17) 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。</p> <p>(18) 世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際親善の視野に立ち、世界の平和と人類の発展に寄与すること。</p>	<p>遵法精神、公徳心</p> <p>公正、公平、社会正義</p> <p>勤労、公共の精神</p> <p>家族愛、家庭生活の充実</p> <p>よりよい学校生活、集団生活の充実</p> <p>伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</p> <p>国際理解、国際親善</p>
D	<p>主として生命や自然、崇高なものとの関わりに關すること</p> <p>(17) 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。</p> <p>(18) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。</p> <p>(19) 美しいものに魅れ、すがすがしい心をもつこと。</p> <p>生命の尊さ</p> <p>自然愛護</p> <p>感動、畏敬の念</p> <p>よりよく生きる喜び</p>	<p>(17) 生命が多くの生き物のつながりの中にあることがけがえないものであることを理解し、生命を尊重すること。</p> <p>(18) 自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。</p> <p>(19) 美しいものに魅れ、すがすがしい心をもつこと。</p>	<p>(19) 生命が多くの生き物のつながりの中にあることがけがえないものであることを理解し、生命を尊重すること。</p> <p>(20) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。</p> <p>(21) 美しいものや崇高なものに感動する心や人間の力を越えたものに対する畏敬の念をもつこと。</p> <p>(22) よりよく生きるようとする人間の強さや勇氣を尊重し、人間として生きる喜びを感じる。</p>	<p>(19) 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども改めて理解し、かけがえない生命を尊重すること。</p> <p>(20) 自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすること。</p> <p>(21) 美しいものや崇高なものに感動する心をもち、人間の力を越えたものに対する畏敬の念を深めること。</p> <p>(22) 人間には自らの弱さや無力さを克服する強さや勇氣を尊重し、よりよく生きる喜びを感じる。</p>	<p>生命の尊さ</p> <p>自然愛護</p> <p>感動、畏敬の念</p> <p>よりよく生きる喜び</p>

### 3年生を中心とする運動部の特別な対外試合

今年度の3年生は、臨時休業で年度をスタートし、中体連の春季大会がまず中止となりました。その後、臨時休業期間が延長し、中体連では夏季大会も中止としました。したがって、振り返ってみると、昨年秋の新人戦が最後の大会だったということになります。

校長会では、部活動においても気の毒な思いにさせてしまっている3年生について、運動部のけじめをつける対外試合の実施について検討し、荒川区教育委員会と協議の上、新型コロナウイルス感染症予防として、いくつもの対策を設けた上で、期間を設けて「3年生を中心とする運動部の特別な対外試合」を実施することといたしました。大会ではありませんので、優勝校を決めるわけでもなく、上部の大会に進出できるわけでもありませんので、勝敗は二の次として各校が試合をしました。3年生の運動部員が、これで十分満足したとは思っていません。しかし、一つのけじめとして、次のステップに進んでいってほしいと思います。

部名	月日	会場	対戦相手	備考
バスケットボール部	8月 8日 8月10日	荒川総合スポーツセンター	一中・五中 開成中・七中	女子 男子
サッカー部	8月 1日 8月 8日	東尾久グラウンド 扇大橋グラウンド	開成中 尾久八幡中	
ソフトテニス部	7月24日 7月25日	原中	開成中他	個人戦 男子 団体戦 男子
卓球部	8月 9日	開成中	開成中・原中・尾久八幡中	個人戦・団体戦
野球部	8月19日	南千住野球場	尾久八幡中	
バドミントン部	8月 8日 8月 9日	尾久八幡中	開成中 四中・諏訪台中	シングルス男子 ダブルス女子
バレーボール部	8月 2日 8月 8日	原中 九中	原中・七中 九中・尾久八幡中	
陸上部	8月2・8・9日 8月23日 8月29日	夢の島競技場 舎人公園陸上競技場 上柚木陸上競技場		全日中通信東京大会予選 足立中学校選手権大会 全日中通信東京大会

※種目の特性により、人数・試合時間・形式など異なる点が多いため、それぞれの部の専門員等が各校の顧問教員と連絡調整を図りながら計画しました。

### 総合防災訓練(引渡し訓練)へのご協力ありがとうございました

すべての、荒川区立中学校には防災部があるとともに、本校ではボランティア精神の強い生徒もたくさんいます。災害時に、炊き出し・荷物の運搬・誘導・高齢者の介護・幼児の保育等のためには、中学生も貴重な戦力となりますが、発災した瞬間や直後は、いずれの中学生も大人が保護してあげなければならない存在です。

大震災はいつ来るか分かりません。いつ来るか分からない大震災が本当に来たとき、私たち大人もパニックになっており、一度も訓練をしたこともないのに、子どもたちを安全・迅速・確実に保護者に引き渡せるでしょうか。手順を一度経験しておくこと自体に、私たちや保護者の皆様にとって意味があると考えております。引渡し訓練へのご協力、本当にありがとうございました。

